



1) 平成29年度 経営状況

・ 人事院勧告の影響や退職給付引当金繰入額の増加もあり、前年度に比べ給与費が増加した結果となったが、医業収益が前年と同等程度の中で材料費や委託費などの経費を削減することができ、医業費用を最小限に抑えることができた。

・ 平成21年度より毎年単年度黒字を計上しており（平成26年度は会計制度の改正により赤字、実質黒字である。）、本年度は前年度と比べ外来収益が約26,695千円減少したが、入院収益で約41,305千円の増収になったことで、290,372千円の純利益を計上することができた。

①損益計算書

（平成29年4月1日から平成30年3月31日） （千円）

区分	H29実績
医業収益	5,871,438
うち入院収益	3,967,555
うち外来収益	1,537,792
医業費用	5,729,089
うち職員給与費	3,094,760
うち材料費	1,250,892
うち委託費	403,948
うち減価償却費	236,284
医業損益	142,349
医業外収益	331,632
医業外費用	198,659
経常損益	275,322
特別利益	21,667
特別損失	6,617
純損益	290,372

* 損益計算書とは、一定期間内における企業の経営成績を表すもの。

②貸借対照表

（平成30年3月31日時点） （千円）

資産		負債	
固定資産	2,127,784	固定負債	1,943,997
有形固定資産	1,999,575	企業債	757,820
無形固定資産	2,109	引当金	1,186,177
その他	126,100	流動負債	1,566,064
流動資産	1,915,157	企業債	281,954
現金及び預金	911,274	引当金	224,730
未収金及び未収収益	1,006,243	一時借入金	200,000
その他	△ 2,360	未払金等	833,398
		その他	25,982
		繰延収益	48,127
		資本	
		資本金	1,417,906
		剰余金	△ 933,153
合計	4,042,941	合計	4,042,941

* 貸借対照表とは、ある一時点における財政状況を表すもの。

③一般会計繰入、補助金等の状況

項目	金額(千円)	備考
県補助金	13,871	協力型臨床研修費補助金、臨床研修費等協力型医師臨床研修費、がん拠点病院運営事業費、認定看護師養成支援事業、耐震診断事業
その他補助金	3,399	有明地域病院群輪番制
繰入金	489,390	救急医療確保経費、研究研修費経営研修費、追加費用負担経費、児童手当に要する経費、院内保育所の運営に要する経費、企業債償還利息利息、高度医療、小児医療、周産期医療、感染症医療、企業債償還元金【H14以前事業】*2/3【H15以後事業】*1/2以内で計算

【補助金】 国、県等から病院事業会計への各種行政上の目的をもって交付されるもの

【繰入金】 地方公営企業法第17条2、第17条3に基づき、一般会計から病院事業会計に繰り入れられたもの

④企業債の借入状況等

（千円）

区分	平成28年度末残高	平成29年度償還額	平成29年度借入額	平成29年度末残高
企業債	858,264	227,491	409,000	1,039,773

* 病院が施設又は医療機器の整備等の財源とするために国の許可を得て国や銀行から借り入れる長期の借入金のこと